

2026年10月15日

報道関係 各位

住友不動産株式会社
住友不動産ハウジング株式会社GOOD DESIGN
AWARD 2026

2026年度グッドデザイン賞

～住友不動産グループ24年連続受賞～

集合住宅「シティタワー千住大橋」 戸建住宅「J・アーバンライト」

住友不動産グループは、下記の2物件が公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2026年度グッドデザイン賞」を受賞しましたことをお知らせいたします。グッドデザイン賞の受賞は、2003年度に初受賞して以来、24年連続となります。

当社グループは、各プロジェクトを通じて建築の可能性を広げ、地域社会の活性化や生活環境の向上に貢献するとともに、社会全体の発展に寄与したいと考えております。これからも持続可能な社会の実現に向け、さらなる進化を目指してまいります。



＜シティタワー千住大橋 外観＞



＜J・アーバンライト 外観＞

2026年度 受賞物件一覧

1. 集合住宅「シティタワー千住大橋」 - 水辺にいざなう パーク&プロムナード -
2. 戸建住宅「J・アーバンライト」 - 街とつながるガラスウォール -

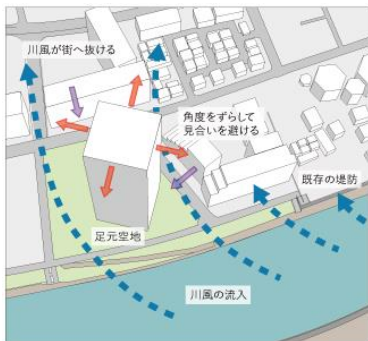
※過去の受賞物件は当社の公式ページよりご確認いただけます。【URL】https://www.sumitomo-rd.co.jp/good_design/

＜本件に関する報道関係者お問い合わせ先＞

住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042 メールアドレス: koho@sumitomo-rd.co.jp

水辺にいざなうパーク&プロムナード

大規模工場跡地の土地利用転換に伴い、官民協働で地域住民の意見を取り入れながら進められたまちづくりの一環として計画された集合住宅です。街と水辺をつなぐ動線を整備し、にぎわいの創出を図りました。また、平時は憩いの場として親しまれ、災害時には一時避難場所として機能する高台の広場を設け、「うるおい・活気・安全なまち」の実現を目指しました。



地域環境に配慮した配棟計画

タワー状住棟の採用と、前面道路に対して角度をずらした配棟により、風の通り道の確保や周辺街区との見合いを軽減。更に、この配棟で生まれた空地を活用して緑豊かな広場を整備し、良好な地域環境づくりに貢献しています。



散策路と緑豊かな広場の創出

隅田川スーパー堤防と一体となったスロープ状の遊歩道や広場を整備し、堤防の階段を使わずに水辺へアクセスできるバリアフリーな回遊空間を実現しました。この空間は、街と水辺をつなぐ交流の場となる一方、災害時には地域の防災拠点としても機能します。また、地域住民の「緑道を散歩したい」という声を反映し、敷地の西側に位置する『ポンテグランデ緑道』を拡幅した緑の散策路や芝生広場を整備。居住者と地域住民が心地よく過ごせる居場所を創出し、街のにぎわいと交流を育んでいます。

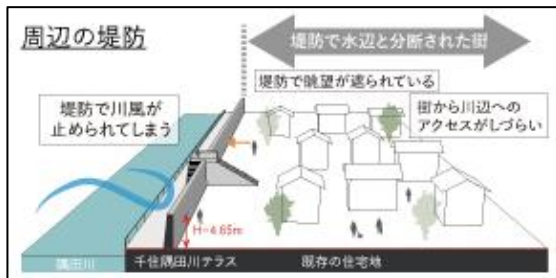


川辺の心地よい風を感じる広場



なだらかなスロープで川辺と広場がつながる

＜憩いと防災を兼ね備えた高台の広場＞



＜審査員コメント＞

豪雨による水害が頻発する近年、堤防の整備・更新は各地で喫緊の課題となっている。一方、従来型のカミソリ堤防は街と水辺を分断し、景観を損なうだけでなく、住民の水辺への意識を希薄化させるといった課題も抱えている。本計画では、水害対策に必要な高さまで敷地全体を嵩上げし、水辺とつながる地域に開かれた広場として再整備することで、防災性の向上と良質な水辺空間の形成を両立している点を高く評価したい。官民協働によるまちづくりのなかで、地域住民の意見を取り入れながら実現した点も意義深い。本計画を先行モデルとして、隅田川沿岸に美しい水辺と高い防災性を備えた空間が連続的に整備されていくことを期待したい。

＜受賞物件 概要＞

所在地 東京都足立区
階数 地上42階
戸数 462戸

構造種別 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
竣工 2025年5月

街とつながるガラスウォール

採光・通風・プライバシー保護に優れているが、公共空間に対して閉鎖的になりがちなコートハウス型住宅を進化させ、住まい手の快適性だけでなく、地域の住環境向上に寄与することを目指しました。また、街と緩やかにつながり人の気配が感じられる計画とすることで、近年増加している戸建住宅を狙った侵入犯罪を抑制し、安全で快適な住まいを実現しています。



設計・デザインの要旨

Point 1

ガラスカーテンウォールの開閉により、
住まいと街とのつながり方を変化させる

リビングとパティオをつなぐガラスサッシを開閉することで、街への開き方を操作できます。プライベートな時間はガラスサッシを閉じて外から見えにくくし、来客時にはリビングとパティオをつなげて開放的な空間として活用します。

リビング-パティオ

CLOSE



OPEN



Point 2

街との空間的な連続と防犯の為に遮断という
相反する事柄を成立させるガラスウォール

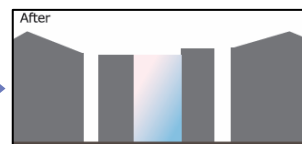
リビングと街の間に設けたパティオとガラスウォールにより、視線を程よく遮りながら街との連続性を確保。オープン外構により死角をなくし、人の気配による見守り効果を生み、侵入されにくい住環境を実現します。



Point 3

ガラスマリオンが街の景色を住まいに映り込ませて両者を融和させ、密集市街地の閉塞感や圧迫感を低減させる

左右の住空間を中央のガラス張りのパティオでつなぎ、建物ボリュームを分節することで密集市街地の圧迫感を低減。内部をパティオに向かって開くことで、プライバシーを確保しながら採光・通風を確保し、街と住宅の双方に開放感を与えます。



《審査員コメント》

道路に面して設けられたガラス張りのパティオが、街に対して閉鎖的にならない都市住宅を実現している点を評価した。都市型住宅において、プライバシーを守りながら採光や通風を確保するために中庭を設ける手法は一般的であるが、周囲を壁で囲うことで街との関係を断ち切ってしまうことも多い。本提案のパティオは、街に対してガラスで開かれているため、防犯性を確保しながら、内部の光や緑、暮らしの気配を適度に街へと伝えている。居住者にとっては外部との緩衝領域となり、街にとっては表情と潤いを与える空間となっている。商品住宅の仕組みの中で、住まいと街との新しい関係を提示した点に意義がある。

《受賞物件 概要》

階 数 地上2階
構造種別 木造(WP工法)